

# 歌川広重 山と海を旅する

2023年8月1日（火）～8月27日（日）



## 広重とめぐる、日本の絶景

風景画の第一人者として、幕末に庶民の人気を得た浮世絵師、歌川広重（1797～1858）。広重が江戸の名所とともに盛んに描いたのが、諸国の山や海などの自然を題材にした作品です。広重は若い時期から、江戸から遠く離れた東海道の名所などを題材にしていますが、特に40代頃からは甲州や房総など、さまざまな場所へ旅に出たことが知られ、旅先で自然を写した経験が以降の作品に反映されていると考えられています。

本展では山と海をキーワードに、広重が晩年に手掛けた揃物「山海見立相撲」や、「六十余州名所図会」をはじめ、よく知られる名品から展示されることの少ない作品まで、幅広く展覧をいたします。

展示ではあわせて、広重が実際に現地を訪れた名所や、既存の地理書の挿絵をアレンジして描いた名所など、その作品制作の様子についても紹介。また険しい山に建つ神社、海上の大鳥居など、各地の山と海に根付いたさまざまな信仰の形についても、その作品から読み解きます。浮世絵に描かれた絶景を、旅をする気分で楽しみながら、広重の画業をもっと深く知ることができる展覧会です。

## 本展の見どころ

### ①日本の山と海的美をもとめた傑作「山海見立相撲」全20図を一挙公開

歌川広重は晩年、諸国の風景、特に山や海を題材にした作品を数多く手掛けています。中でも「山海見立相撲」はまさに山と海を題名に冠したもので、安政5年（1858）9月にコレラで亡くなった広重が、その直前に手掛けた絶筆のひとつとも言えるシリーズです。本展では、同じく最晩年に描かれた「名所江戸百景」「富士三十六景」などと並ぶ、広重渾身のシリーズ全20図を一挙公開。全図公開は国内で初めての機会となります。ほかにも「六十余州名所図会」をはじめ、広重が描いた諸国の風景を多数紹介いたします。

### ②広重はその絶景を見たか—作品の制作過程を読み解く

広重は生涯に幾度も諸国への旅に出ました。甲州や房総などを旅した際には広重は日記を残しており、実際に訪れた場所でのスケッチや体験をもとに、多くの作品を描いたと考えられています。一方で、広重は淵上旭江『山水奇観』や谷文晁『名山図譜』など、既存の地理書などの挿絵をアレンジして描くことも盛んに行いました。美しい風景画を生み出すために広重が行っていた様々な工夫を、作品や資料とともに読み解きます。

### ③大自然に根付いたさまざまな信仰を紹介

広重が描いた諸国の山や海の景色の中には、しばしば神社や寺の境内が描かれているのを見つけることができます。急峻な山や、海に面した岬など、大自然の絶景は、古くからしばしば信仰の対照となりました。富士信仰や大山信仰をはじめ、江戸時代のさまざまな信仰を広重の絵を通して紹介します。



(1) 歌川広重「山海見立相撲 越中立山」



(2) 歌川広重「五十三次名所図会 十四原あし鷹山不二眺望」



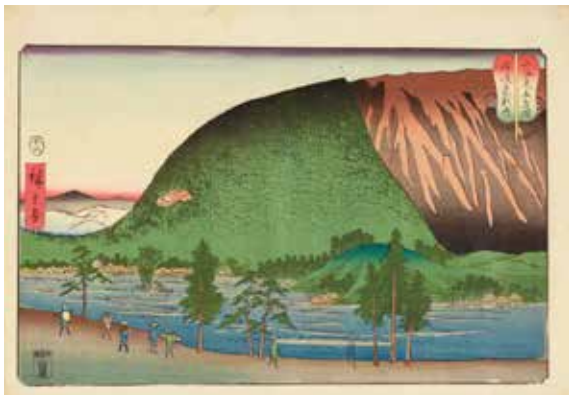
(3) 歌川広重「富士三十六景 甲斐犬目峠」



(4) 歌川広重「木曾路之山川」



(5) 歌川広重「阿波鳴門之風景」



(6) 歌川広重「山海見立相撲 讃岐象頭山」



(7) 歌川広重「山海見立相撲 相模大山」



(8) 歌川広重「富士三十六景 駿河薩タ之海上」



(9) 歌川広重「甲陽猿橋之図」



(10) 歌川広重「六十余州名所図会 上野 榛名山雪中」

## 学芸員によるスライドトーク

展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

2023年8月3日(木)、8月9日(水)、8月18日(金)

各回 11:00より 約30分程度 定員50名

当日10:30より美術館受付にて整理券を配布します。

タイトル 歌川広重 山と海を旅する  
英タイトル Utagawa Hiroshige -Traveling Mountains and Seas  
会期 2023年8月1日(火)～8月27日(日)  
開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)  
休館日 月曜日  
入館料 一般800円 大高生600円 中学生以下無料  
アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分  
東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分  
問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)  
公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>  
公式Twitter @ukiyoeota  
会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10  
TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994  
E-mail [om@ukiyoe-ota-muse.jp](mailto:om@ukiyoe-ota-muse.jp)  
展示担当: 渡邊晃 広報担当: 金塚さくら



太田記念美術館  
公式サイト



画像申請・取材  
の申込はこちら